



いちかわみさと

議会だより

第39号

2015年5月1日発行



H27 年度入学式

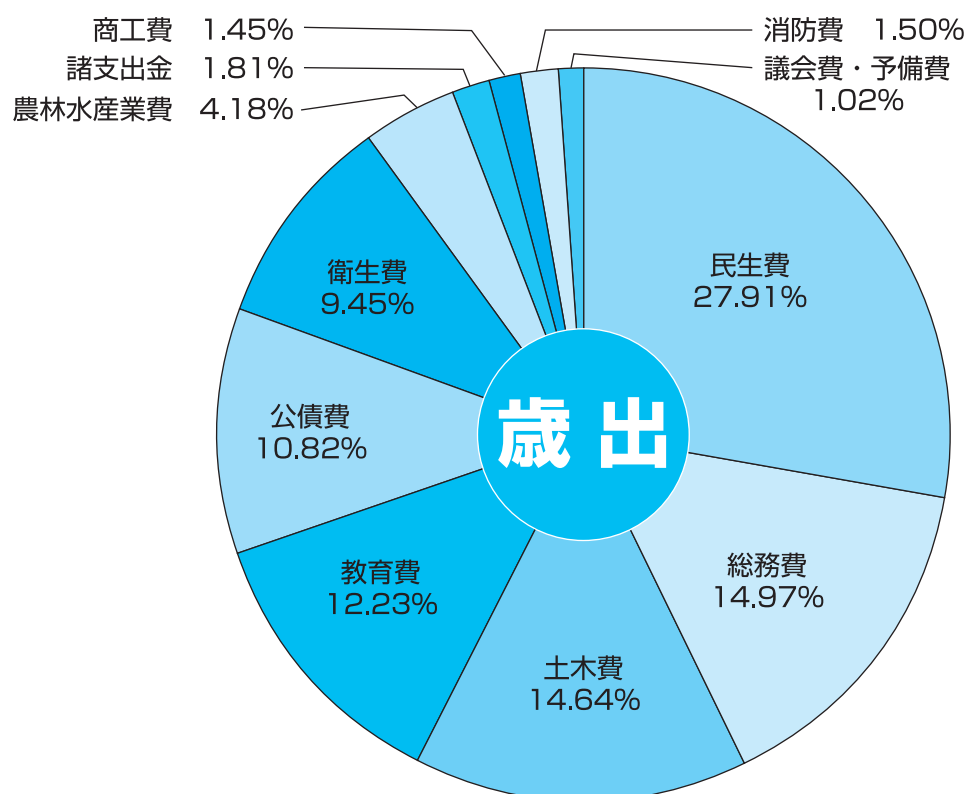
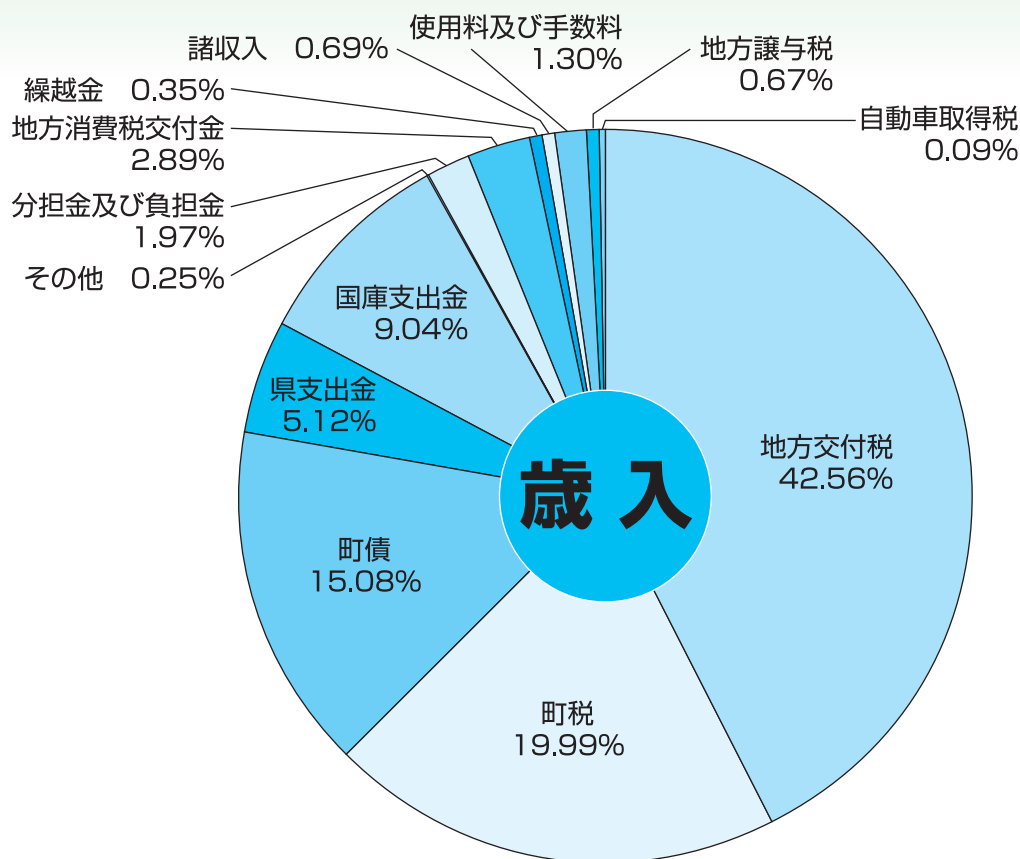


平成27年 3月定例会

- | | |
|--------------------------------------|------|
| ● 平成27年度当初予算（一般会計）
84億7,360万円の使い道 | 2～3 |
| ● 平成26年度補正予算・総括質疑 | 4 |
| ● 条例の廃止・制定・改正 | 5 |
| ● 常任委員会・組合議会報告 | 6～7 |
| ● 一般質問・6議員が町政を問う | 8～13 |
| ● 討論・議会広報モニター委嘱式 | 14 |
| ● 審議結果・請願 | 15 |
| ● みんなのページ | 16 |

を可決

前年度比 3.96%減 緊縮予算

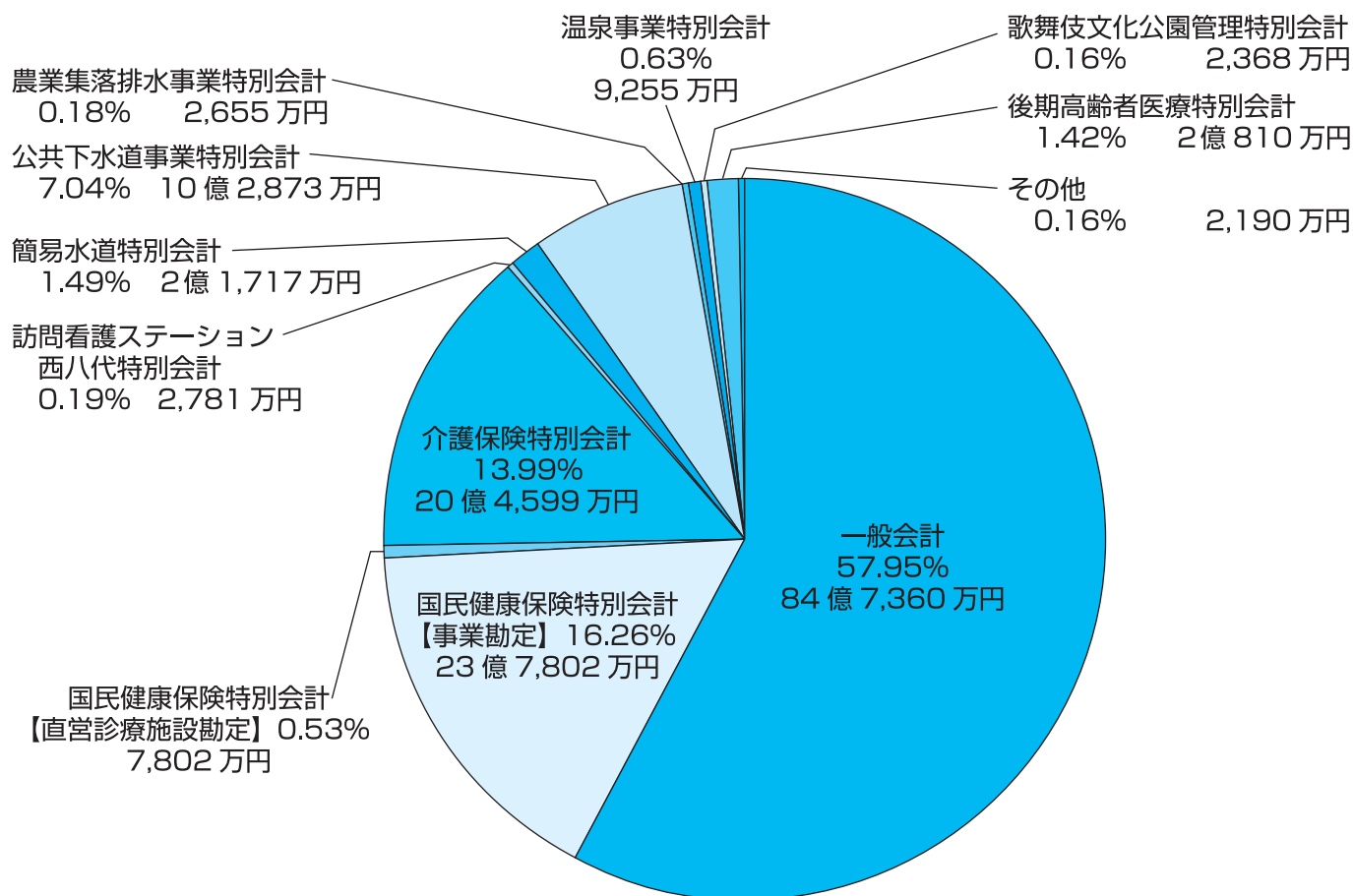


平成27年度第1回定例会は、3月6日から18日までの13日間にわたり開催されました。今定例会では平成26年度一般会計・特別会計補正予算をはじめ、条例の制定・改正及び廃止、平成27年度当初予算（一般会計予算・特別会計予算）など60議案が、提出されいずれも原案どおり可決、承認されました。請願1件についても採択され、意見書も提出されました。

平成 27 年度一般会計当初予算

84億7,360万円

●特別会計（61億4,852万円）を含めた 総額（146億2,212万円）の状況



主な新規事業

予算額(万円未満は四捨五入)

市川中学校テニスコート改修事業	2,662万円
六郷小学校大規模改造事業	1,145万円
市川南小学校職員室改修事業	663万円
市川大門町民会館改修事業	2,104万円
高田公民館屋根改修事業	290万円
山保農村広場防球ネット設置事業	637万円
ひまわり保育園園舎増改築工事補助事業	1,514万円
町制施行10周年記念事業	1,965万円
甲斐上野駅駐輪場等整備事業	857万円
第2次総合計画策定事業	450万円
地域防災計画改訂事業	394万円
統合型GISシステム更新事業	2,214万円
コミュニティバス六郷線バス更新事業	300万円
第8分団統合事業	63万円
セカンドブック事業	20万円

主な継続事業

予算額(万円未満は四捨五入)

上野小学校大規模改造事業	2億528万円
小中学校少人数学級の推進事業	3,903万円
町道矢作上野線新設改良事業	2億5,160万円
鳴沢川高田地区内水対策事業	1億4,000万円
町道宮原一本松線新設改良事業	9,600万円
町単農業土木事業	3,470万円
長寿・医療費給付金事業	2,978万円
百歳の祝い事業	1,024万円
臨時福祉給付金事業	2,689万円
子育て世帯臨時特例給付金事業	774万円
子育て支援医療費助成事業	5,854万円
放課後児童健全育成事業	3,307万円
峡南医療センター負担金	1億8,269万円
消防団消防詰所新設事業	2,360万円
六郷町民会館外壁改修事業	4,276万円

平成 26 年度
(万円未満は四捨五入)

一般会計補正予算

収入支出の補正額は

補正額 △2 億 2,534 万円

総 額 90 億 9,125 万円

収入のおもな内訳は



町税	△	2,308 万円
地方交付税		219 万円
国庫支出金		2,909 万円
県支出金	△	333 万円
繰入金	△	2 億 891 万円
諸収入		9,577 万円
町債(借入金)	△	1 億 1,180 万円

おもな使いみち

総務費

町議会議員選挙費更正	△	979 万円
プレミアム付商品券発行補助金		3,475 万円
総合戦略策定に伴う調査・分析等業務委託料		975 万円
若者定住促進等補助金		1,500 万円
企業支援(雇用創出)補助金		935 万円
商工会商品券助成分交付金		630 万円

衛生費

予防接種委託料更正	△	1,786 万円
峡南医療センター負担金更正	△	5,343 万円

商工費

温泉事業特別会計繰出金追加		1,118 万円
---------------	--	----------

民生費

臨時福祉給付金事業更正	△	555 万円
大塚保育所再生可能エネルギー等 導入工事費更正	△	633 万円

土木費

宮原一本松線工事費更正	△	3,930 万円
矢作上野線工事費更正	△	1,700 万円
公共下水道事業特別会計繰出金更正		
	△	4,716 万円
竈鼻川浦線建物等補償費更正	△	1,108 万円

※繰入金 会計の収支不足を補うために、他の会計や積立金(基金)から充てられる資金。

※繰出金 おもに一般会計から特別会計に対して、不足を補うために支出する。

※更正 実績などにより経費が少額で済んだ場合、予算を減額すること。

総括質疑

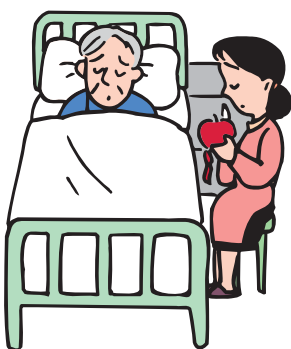
問 一瀬 正議員

平成 27 年度峡南医療センターの予算書によれば、医業収益、事業収益は 8 億 5,558 万 4,853 円の赤字の予算計上である。2 つの病院と 2 つの老健施設すべてが赤字になれば事業体として成り立たない。救急も急性期医療、慢性期や在宅医療も保障できない事態になる恐れがある。

町長は、町のトップとして、あらゆる手立てを尽くして、市川三郷病院の診療体制の充実と存続をなくしてはならないのではないか。これからの方針は。

答 町長

非常に危機感をもっている。問題を直視して、しっかりと対応していきたい。



条例の廃止 1 件 制定 6 件 改正 9 件

● 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例廃止

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の施行に伴い本条例を廃止する必要性が生じたため

● 教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例制定

勤務時間その他の勤務条件について定める必要性が生じたため

● 教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例制定

職務に専念する義務の特例について定める必要性が生じたため

● 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例制定

子ども・子育て支援法の施行に伴い、利用者負担額等を定める必要性が生じたため

● 指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定

地方公共団体において、居宅介護・介護予防支援事務所の指定基準を定める必要性が生じたため

● 地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例制定

地方公共団体において、地域包括支援センターの指定基準を定める必要性が生じたため

● 景観条例制定

景観計画の策定及びその他必要な事項が生じたため

● 行政手続条例の改正

行政指導を行う際の方式及び行政指導の中止等の求めについて規定する必要性が生じたため

● 職員定数条例の改正

本条例で引用している条番号にずれが生じるため

● 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の改正

報酬額の改正を行う必要性が生じたため

● 特別職報酬等審議会条例の改正

本条例中に教育長についても規定する必要性が生じたため

● 町長の給与及び旅費条例の改正

本条例中に教育長についても規定する必要性が生じたため

● 職員給与条例の改正

通勤手当及び給料表について改正する必要性が生じたため

● 介護保険条例の改正

介護保険料率の改定及び介護保険法の改正に伴い、改正する必要性が生じたため

● 情報公開条例及び個人情報保護条例の改正

個人情報保護条例について所要の改正を行う必要性が生じたため

● 議会委員会条例の改正

議会委員会条例について所要の改正を行う必要性が生じたため

総務教育

開催日
3/9

問 4月から教育長と教育委員長を一本化した新しい「教育長」を置く教育委員会制度に見直される。本町での対応は。

薬袋教育総務課長 現教育長の任期である29年11月29日まで、経過措置により現行制度を適用する。

問 学校体育館の耐震対策は。

教育総務課長 対象体育館はすべて耐震補強済である。

問 高校生までの医療費無料化への取り組みは。

町長 峡南他町の動向も勘案し、10月実施に向け取り組みたい。

問 上野小学校大規模改造事業の内容は。

教育総務課長 校舎及び体育館の外壁塗装、トイレの改修、各教室の床及び壁の張替え等である。

問 ふるさと納税者への返礼品の内容は。見直す考えは。

伊藤企画課長 26年度は183万円の寄付を見込む。1万

円以上の寄付者に、季節の町特産の農産物をJAに委託して送っている。今後は、制度の趣旨を尊重しながら、商工会との連携を含め検討する。ホームページの表現も工夫する。

問 国際交流事業の内容は。

町長 平成2年のアメリカマスカティーン市との姉妹都市締結以降、国際交流協会を窓口生徒の派遣と受入れを毎年交互に行っている。

問 町外からの区域外就学希望への対応は。

教育長 町の「区域外就学の許可基準」に基づき教育委員会でも検討していく。

町長 こどもたちにとって何が良いかを基本に検討することが重要。必要により相手の町長とも話しをする。

厚生常任

開催日
3/10

問 更生医療費が増加傾向だが、要因は。

一瀬福祉支援課長 透析、肢体不自由、免疫不全などが対象となる。特に透析が増加した。

問 予防接種委託料実績の大幅減少の理由は。

網倉いきいき健康課長 子宮頸がんを372人見込んだが実績は4人。水痘ワクチンは600人を見込み実績は190人であった。

問 難聴児補聴器購入助成事業の内容は。

福祉支援課長 軽度の子供1人を想定している。

問 介護予防 生活支援事業の備品購入の目的は。

福祉支援課長 保有する*ふれあいペンダント117台の内の16台の買い替えである。

*ふれあいペンダント

高齢者世帯で、急病や事故など緊急に助けが必要な時、身に着けているペンダントのボタンを押すだけで「安心安全見守りセンター」が対応し、消防署や近所の協力員に連絡する制度

問 下九一色高萩のドクターヘリ離着陸場の完成はいつか。

いきいき健康課長 3月19日入札、工期は3月23日から9月5日までを予定している。

問 *産後ケア事業の開始はいつか。費用負担はどの程度か。

いきいき健康課長 「山梨県産後ケアセンター（仮称）」は、28年1月運営開始予定。利用料は3泊4日を基本として33,900円である。利用者個人負担額6,100円で、残りを県と町が負担する。

*産後ケア事業

山梨県と県内全市町村で施設を開設し、妊娠・出産・育児を地域全体で支える新たな取組みとして、心身共に不安定になりやすい産後の一定期間の母親等に対する支援を行う制度

問 不妊治療費助成事業の成果はどうか。

いきいき健康課長 26年度は8人の申請で74万円助成した。うち4人が妊娠した。



常任委員会

土木環境

開催日
3/13

問 町道箆鼻川浦線の工事進捗状況は。

遠藤建設課長 平成13年に着手し、700mが供用開始。残り240mについて、30年度の供用開始に向け地権者と交渉中。

問 排水機場耐震点検業務の内容は。

丹沢産業振興課長 5か所の排水機場施設の耐震診断を行う。

問 県道と町道との除雪作業費の差異について。

建設課長 県道に対し、町道では半分以下の単価である。町道についても、徐々に県基準に近づけていきたい。

問 橋梁点検事業の対象数は。

建設課長 橋長5m以上の115橋は点検済である。5m未満の105橋のうち53橋を27年度に点検する。

問 鳴沢川高田地区内水対策工事の内容は。

建設課長 排水施設の本体工事で、給水槽建設、護岸工事、

自家発電設備制作等である。

問 下水道アクションプランとは何か。

内藤生活環境課長 27年度からの10年間を対象期間として、より効率的に下水道事業を進めるための計画を策定するものである。

問 みたまの湯の維持管理費について、町の負担額の軽減を図れないか。

産業振興課長 27年度は休館を必要とする大規模改修工事を集中して行う。

町長 町負担については指定管理者との協定締結時に協議を重ね、軽減に努めてきた。



下水道工事

組合議会の報告

中巨摩地区広域事務組合

第1回定例会 12月25日

平成26年度一般会計補正予算は、補正額3万円を職員給与へ追加。老人福祉事業特別会計、職員給与追加。勤労青年センター事業特別会計補正では、職員給与、手当、共済費等へ追加。

し尿処理事業、ごみ処理施設の延命工事に伴う補正予算等、4議案は、いずれも原案どおり可決されました。

(報告 内田 利明)

山梨県後期高齢者医療広域連合

第1回定例会 2月17日

条例の一部改正2議案、補正予算2議案、平成27年度当初予算2議案で、いずれも原案のとおり可決されました。

(報告 内藤 優)

峡南医療センター企業団

第1回定例会 2月26日

峡南医療センター企業団会計補正予算は、収益的収入・支出、介護老人保健費用に807万4千円を追加。医薬品等の増額によるものでした。

病院事業資本的収入は、企業債及び県補助金を4,252万5千円を減額し、病院事業資本的支出においては、1,798万円を減額するもので、いずれも事業確定によるものでした。

平成27年度予算については、業務の予定量として、病院事業では、2病院の稼働病床は208床、年間入院患者数49,410人、外来患者数は131,220人とし、介護老人保健事業では、2老健の合計として、入所定員170人、通所定員42人、年間入所者数59,292人、年間通所者数8,562人等との報告があり、いずれも原案どおり可決されました。

(報告 松野 清貴)

町の歴史資料を保管し、 展示できる歴史博物館設置を

一瀬 正議員



——既存施設の利活用を再検討——

問 町民が、尊い先祖の宝物を、安心して預けられる町の施設、町の歴史と貴重な資料を保管し展示できる歴史博物館を設けることが必要と考えるが。

問 新田橋の先からバイパスにつながる町道は自転車通学の高校生が多い。防犯灯の設置が必要と考えるが。

町長 防犯上の観点から、農作物にも配慮した防犯灯を設置したいと考えている。

問 本町は東京に近く、交通の便もよく、豊かな自然に恵まれている。町の活性化策として、新産業の誘致と、東京の区との友好自治体の協定締結を結び、その区内の大学との交流を深めることで活性化を図るようにはどうか？

問 医療・介護総合法の施行により、これまで介護支援1・支援2の認定を受けていた人たちに、町独自にどのように支援していくのか。

町長 ニーズにあったさまざまなサービスが提供できるように準備を進めている。

問 国保の都道府県単位化を政府が進めているが、これに対する町の見解は。

町長 推移を見た上、判断、対応していく。

町長 現在、市川地区では町民会館2階にある資料室で研究、収集、保管している。三珠地区では民俗資料館で歴史的な資料が保管されている。展示については図書館入口のスペースなどで行っている。歴史資料が大切に保管されるような仕組みづくりをしていく。



新田橋付近の道路

町長 町の資源を生かした町づくりの手段の一つとして検討する。

町長 指導員の確保で臨時職員を募集したが、申込者が少なかった等、条例通りの実施は困難と考えるが、新たな学童クラブを開設することも含めて早急に検討していく。

問 「放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する条例」制定後の学童保育の取り組み状況は。



「地方創生」への取り組みについて

笠井 雄一 議員

——町民参加による「総合戦略」を策定する——



問 「地域創生」を旗印とする国の施策として、人口減少に歯止めをかけ、東京圏への過度な人口集中の是正を図ることを目的に、各自治体による対策の具体化と総合戦略の策定が必要とされることとなった。
本町ではどのように取り組むのか。

町長 国の基本的考え方として、①人口減少と地域経済縮小の克服 ②まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を掲げ、各地域の実情に合わせた施策を展開することが指示されている。
全職員からの提案を募集し、322件の提案があった。あらゆる戦略、戦術を立て、地域の方々とまちの将来を見据えた計画を策定すべく、準備を進めている。

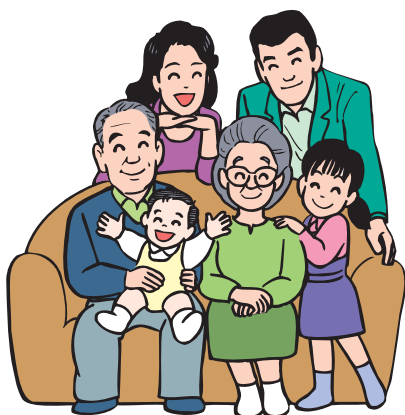
問 「地方消費喚起・生活支援型事業」への対応方針は。

伊藤企画課長 「地域の経済力アップ」が目的である。主に、プレミアム付き商品券を発行し、商工会加盟店だけでなく、他の大型店等も対象として考えている。

また、子育て支援策として、高校生以下の子育て家庭に対し、商品券を配布する。

問 「地方創生先行型事業」として、町民参加による27年度から5年間の「地方版総合戦略」策定への対応方針は。

町長 27年度末までに、「総合戦略」を策定する。3月中に役場内での準備委員会発足、4月に戦略本部を設置する。町民各層からの多くの声を生かせるような仕組みづくりを重視し、体制を整え取り組んでいく。



副町長を設置し政策推進室の強化を

高尾 貫 議員



——本年度は現組織体制で臨む——

問 魅力ある町を発展させる重要な政策課題を処理していくため副町長を設置して政策推進室の機能強化をすることで一層の活性化が図れると期待するが。

町長 27年度は現組織体制で臨む。政策推進室の強化については、地方創生法に基づき地方版総合戦略の策定に関わる課として強化に努める。一本化については統括、政策推進室長の連携により対応する。

問 地方創生により町は、どう変わろうとしているのか。

町長 4月に政策推進室に創生対策本部を設置し、積極的に取り組む。5千円で30%付の商品券を発行し消費喚起を促す事業を行う。人口対策事業は、若者定住促進住宅補助事業、企業支援・雇用創出事業を計画した。

問 本町は企業誘致に必要な条件は整っていると思うがその考えは。

町長 田園風景や農業を大事にしたい思いもある。企

業誘致のために広大な用地を確保するのは難しい。

問 空き家対策の促進に向けた具体策を示せ。本町の空き家率はどの位か。空き屋を撤去し更地にする、固定資産税の減額措置がなくなり住宅放置に繋がる事も事実である、対策は。

町長 県が連絡協議会を設置し、町も「空き家、空き地等適正管理対策プロジェクト塾」を立ち上げた。

現在居住してない建物は553軒である。

固定資産税の減額については、国の税制改正大綱で住宅用地特例の対象から除

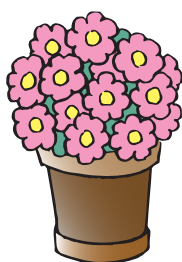
外する方向なので難しいと考える。

問 空き家の基準は。

伊藤企画課長 国の特例措置法では、賃貸・売却用住宅、別荘などの住宅、転勤・長期入院などで不在中の住宅、新築により不要になった旧住宅をいう。



増加する空き家



「第2次総合計画」策定は

丹澤 孝 議員

—— 地方創生5ヶ年計画と併せ 計画を策定——

町長 平成27年度は、庁内に部会を立ち上げ、基礎バックデータ收拾のためのアンケート調査、資料収集等の予算を計上し、地方創生と併行し、計画策定をしていく。

問 第1次総合計画策定には1年以上の期間を要してきた。平成29年度以降の「第2次総合計画」を策定する方針は。



問 第2次総合計画策定に関する基本的考えは。

町長 過去の検証は必須。計画・実行・評価・改善のサイクルを活用し、各課の継続事業をヒヤリングして策定。



神明の花火

問 国が求める「地方創生」事業に関する「地方版総合戦略」との関連性は。

町長 政策推進室を中心に進め、そこで策定した五ヶ年計画は、第2次総合計画に組み入れ、更に十年という長期的な視野に向けて策定していく。

問 合併10周年記念事業について。

町長 合併10周年を機会あるごとに内外にPRしていく。

具体的には、神明の花火をはじめ、①西伊豆町との姉妹町締結、②NHKのど自慢大会、故市川団十郎丈ご遺族イベントなど計画している。

問 市川三郷町出身者の会を設立しては。

町長 有志の方々の力を活用し、町が活性化するため、「中からも外からも」知恵をいただき糸口を見出していく。



歌舞伎公園

小型除雪機購入へ補助を

宮崎 博巳 議員



——自主防災組織資機材補助金制度を活用して——

問 昨年の大雪の教訓から、高齢化が進む中、自治会や個人が除雪機購入の際、補助金制度の創設を。

問 補助金制度の周知を図るとともに、高齢化が進む中地域で助け合い、支えあう共助が重要と考えるが。

問 地域防災計画を今後どのように進めていくのか。

町長 国・県の動向も注視し、平成27年度中に、地域防災計画の改訂を進める。

町長 自主防災組織の機材購入費は、10万円を限度に経費の $\frac{1}{3}$ に相当する金額が補助金対象となるので活用を。

町長 補助金の目的の公益性を考え、その地域で購入して、除雪をしてあげるということの方が、適切と考える。

個人に対しての補助は、公益性が保たれないため、補助金は考えていない。



問 手話言語の条例制定の考えは。



町長 手話による意思疎通、社会参加の保障という二つの視点から、地域や公的機関などによる育成及び確保が必要、慎重に協議し、条例制定の準備を進める。

英語教育特区の実現を

内藤 優 議員

—— 実施に向けて取り組んで行く ——



問 合併時「新しいまちの将来構想で、特色ある教育（※英語教育特区）を進め取り組む」としている。10年が経過したが特区の取り組みは。

町長 英語教育の特区の実施に向け、小学校低学年から英会話教室の開催や、中学校の外国人英語講師を小学校へ派遣など取り組んでいる。

教育委員長 小学校高学年における英語教育を教科に格上げし、中学校・高等学校における、指導体制の充実などについて平成27年度には要望することとなっている。

教育長 基盤づくりは5名の※ALTで全小・中学校を教育している。

薬袋教育総務課長 教育委員会に総務施設係2名配置し推進を図っている。

※英語教育特区
幼少期からの英語教育を積極的に導入し幼、保、小・中学校、高等学校で連携して英語教育に取り組むこと。

※ALT（外国語指導助手）
小学校や中学校・高等学校に児童・生徒の英語発音や国際理解教育の向上を目的に各教育委員会から学校に配置され、授業を補助している。

問 英語教育強化地域拠点事業とのかかわりは。

教育長 現在は市川小学校、市川東小学校、市川中学校で市川高校との連携を図り、英語教育の強化をしている。

今後は、全小・中学校でその推進を図っていく。

問 峡南地域における高校再編構想とのかかわりは。

町長 英語教育強化地域拠点の事業を通じて、英語特区の実現を強化し、市川高校（英語科）そして高校存続に向けて取り組んでいく。

教育委員長 市川高校は100年の歴史と伝統を誇る。この事業の取り組みにより、さらに教育指導体制が理解され、地元へ高校を残す活動にもつながるものと期待する。



100周年を迎えた市川高校

討 論

◆市川三郷町指定介護予防支援等の基準を定める条例制定

(反対) 一瀬 正 議員

包括支援センターの職員、介護サービスや提供者に責任を押し付ける制度である。

(賛成) 内田 利明 議員

厚生労働省令で定められていた基準を、町が条例で定めることになったためであり、住民を主体とした予防支援事業の活動等が、変わるものではない。

◆市川三郷町介護保険条例の改正

(反対) 一瀬 正 議員

年金が少なく介護保険料が支払えない人達がいる。

(賛成) 内田 利明 議員

平成27年度からの第六期介護保険事業計画のもと、低所得者層の保険料の軽減割合を拡大し、

さらには峡南管内の他町との比較の中でも、町民に配慮したもので、妥当な計画である。

◆平成27年度一般会計予算

◆平成27年度介護保険特別会計予算

◆平成27年度後期高齢者医療特別会計予算

(反対) 一瀬 正 議員

峡南医療センターの負担金について、企業団の平成27年度当初予算は赤字となっている。今後入院患者・通院患者が減少すると考えられるが診療体制の充実をすべきだ。

(賛成) 内田 利明 議員

高齢者が安心して生活を送ることが出来る必要な予算である。余剰金等を活用することにより均等割が2.1%増と保険料率を抑えたものである。国民皆保険を将来に引継いでいくことが何よりも大切であると考えます。

議会広報モニター委嘱式

1月27日、議会広報モニター委嘱式が行われ、13名のモニターが選任されました。委嘱状が各モニターに交付された後、議会広報について意見交換が活発に行われました。モニターの意見や指摘をいただき、議会と町民の皆さんがより近くなり、町民に見やすく、親しまれる議会だよりとなるよう心がけてまいります。

モニター様よりいただいたご意見

- ニードスポーツセンターの掲載はあるが利用者の声を載せては。
- 「みんなのページ」子どもの姿を見ると元気が出る。
- 表紙と裏表紙は、みんなに読んでもらえるよう工夫をして。
- 子どもの写真があるとお母さん方にも興味を持って見てもらえる。
- 予算のこともあるがフルカラーにしてはどうか。
- 一般会計補正予算が掲載されているが、円グラフで掲載しては。
- 専門的な用語については※印や枠付きで解りやすく説明されている。
- 写真やイラスト・カットを使用しているので見やすい。

いただきましたご意見等は、紙面に活かしてまいります。引き続き町民の皆様に、読んでいただけるよう広報編集委員会は努力してまいります。

議会広報モニター名簿

任期：平成26年12月1日～平成28年11月30日

三珠地区

小野 芳幸 さん
村松 清見 さん
横尾 智文 さん
薬袋 富昭 さん

六郷地区

伊藤ますみ さん
芦澤悠起枝 さん
笠井 庸子 さん

市川地区

前島 一哉 さん
岸本 文子 さん
遠藤 孝助 さん
門西 悦子 さん
村上 有紀 さん
若尾かな江 さん

計 13名



審議結果 第1回定例会(3月6日～18日)

承認	結果
平成26年度一般会計補正予算(第13号)の専決処分につき承認を求める	承認 全会一致

条例の制定	結果
教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例制定	可決 全会一致
教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例制定	可決 全会一致
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例制定	可決 全会一致
指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定	可決 賛成多数
地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例制定	可決 全会一致
景観条例制定	可決 全会一致

条例の一部改正・廃止	結果
行政手続条例の改正	可決 全会一致
職員定数条例の改正	可決 全会一致
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の改正	可決 全会一致
特別職報酬等審議会条例の改正	可決 全会一致
町長の給与及び旅費条例の改正	可決 全会一致
職員給与条例の改正	可決 全会一致
介護保険条例の改正	可決 賛成多数
情報公開条例及び個人情報保護条例の改正	可決 全会一致
議会委員会条例の改正	可決 全会一致
教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例廃止	可決 全会一致

補正予算(一般会計・特別会計)	結果
平成26年度一般会計補正予算(第14号)(第15号)	可決 全会一致
平成26年度国民健康保険特別会計補正予算(第6号)	可決 全会一致
平成26年度介護保険特別会計補正予算(第5号)	可決 全会一致
平成26年度介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	可決 全会一致
平成26年度訪問看護ステーション西八代特別会計補正予算(第3号)	可決 全会一致
平成26年度簡易水道特別会計補正予算(第5号)	可決 全会一致
平成26年度公共下水道事業特別会計補正予算(第5号)	可決 全会一致
平成26年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	可決 全会一致
平成26年度戸別浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第1号)	可決 全会一致
平成26年度温泉事業特別会計補正予算(第2号)	可決 全会一致
平成26年度歌舞伎文化公園管理特別会計補正予算(第3号)	可決 全会一致
平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	可決 全会一致

当初予算(一般会計・特別会計・事業会計)	結果
平成27年度一般会計予算	可決 賛成多数
平成27年度国民健康保険特別会計予算	可決 全会一致
平成27年度介護保険特別会計予算	可決 賛成多数
平成27年度介護サービス事業特別会計予算	可決 全会一致
平成27年度訪問看護ステーション西八代特別会計予算	可決 全会一致
平成27年度簡易水道特別会計予算	可決 全会一致
平成27年度公共下水道事業特別会計予算	可決 全会一致
平成27年度農業集落排水事業特別会計予算	可決 全会一致
平成27年度戸別浄化槽整備推進事業特別会計予算	可決 全会一致
平成27年度温泉事業特別会計予算	可決 全会一致
平成27年度恩賜県有財産保護管理事業特別会計予算	可決 全会一致
平成27年度市川財産区特別会計予算	可決 全会一致
平成27年度高田財産区特別会計予算	可決 全会一致
平成27年度大同財産区特別会計予算	可決 全会一致
平成27年度歌舞伎文化公園管理特別会計予算	可決 全会一致
平成27年度後期高齢者医療特別会計予算	可決 賛成多数
平成27年度上水道事業会計予算	可決 全会一致

その他議案	結果
町道矢作上野線三珠こ線橋上部工製作工事請負変更契約の締結	可決 全会一致
山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合の解散	可決 全会一致
山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合の解散に伴う財産処分	可決 全会一致
山梨県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更に伴う山梨県市町村総合事務組合規約の変更	可決 全会一致
峡南地区市町村指導主事共同設置規約の変更	可決 全会一致
字の区域変更	可決 全会一致
訴えの提起	可決 全会一致
要戸外六字恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任につき同意を求める	同意 全会一致
市川大門恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任につき同意を求める	同意 全会一致
水上外一山恩賜林保護財産区管理会委員の選任につき同意を求める	同意 全会一致
大畠山外七字恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙	適任 全会一致
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める	適任 全会一致
鯉沢警察署「大同警察官駐在所」の建て替えを求める意見書の提出	可決 全会一致

●採択(全員 賛成)
鯉沢警察署「大同警察官駐在所」の建て替えを山梨県に求める意見書に関する請願書

請願

請願人

平遠内今長遠渡遠村
岡藤田村藤邊藤松
正茂武重重浩秀
文肇樹史男和之明俊

紹介議員

村松内秋松
松田山野
武利詔清
人明樹貴

人事

人権擁護委員

望月 清明氏(黒沢)

水上外一山恩賜林保護財産区管理会委員

河野 渡邊 有泉 北村 小林
淳 精 正臣 晴一 洋一
氏 氏 氏 氏 氏
(下 三 中 下 高)
(芦 帳 山 芦 萩)

議会傍聴におでかけください

次回定例会は6月に予定されています。

傍聴の定員

本会議30人 委員会8人

◆3月定例会の傍聴実績(のべ人数)

本会議 27人 委員会 5人

◆会議録検索システム利用件数

平成27年1月から3月まで 1,152件

◆お問い合わせ

議会事務局 TEL 055-272-1108

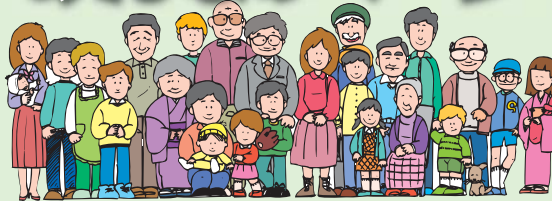
原稿を募集します。

みなさまのご意見をお寄せください。

400字原稿用紙1枚以内、氏名（区名）・顔写真の掲載など詳細は、お問い合わせ下さい。

お問い合わせ：議会事務局 TEL 055-272-1108

みんなのページ



ほうとうづくり



ほうとうづくり



桔露柿づくり



上地区公民館学童クラブが開所して4年が経過し、軌道にも乗ってきました。学童クラブの最大の目的は、保護者の迎えが来るまで楽しく遊べて、ケガもなく安全・安心の状態で行き渡すことにあります。しかし、好奇心旺盛な子どもたちはなかなか言葉通りには行かないことから、四苦八苦する場面もありました。またこの1年、子どもたちの様子を見てみると、遊び等にも色々な変化が感じられます。季節に応じて、一輪車乗り、水遊び、なわとび、鬼ごっこ等々。子どもたちなりに考えて行動している様子が伺えます。

さらに、安全対策には、学童クラブとしても取り組んでいます。夏場に多い不審者対策や地震を想定した避難訓練など、自分の命を守る大切さや仲間を想う心の育成などに主眼をおき、時あるごとに実施しています。大切な子どもを預かる身として、常に考えておかねばならないことのひとつだと思っています。

平成27年度より受け入れ体制も広がり、ますます大変な時期を迎えますが、これからの子どもたちの健やかな成長を見守りつつ、更なる発展につなげていきたいと思っています。



桔露柿づくり



餅つき



餅つき

編集後記

♪屋根より高い鯉のぼり 大きいまごいはお父さん 小さいひごいは子どもたち おもしろそうにおよいでる♪

どこまでも青く澄みきった五月晴れの天空に、雄大に泳ぐ鯉のぼりの光景はいつ見ても微笑ましく、立ち止まって見入ってしまう。また一年を通じて一番過ごしやすい季節がやって来ました。

新年度、新学期がスタートして一ヶ月が経ちました。新しい職場環境も、新しい学校生活にも、ようやく馴れてきたことと思います。今年は東日本大震災から4年目、阪神淡路大震災・地下鉄サリン事件から20年を迎えた年。事件・事故・災害などが無い一年間にしたいですね。そのためには・・・と考えたが普段通りに過ごせる生活が一番平和であることを感じました。
 (記 小川)

議会広報編集特別委員会

委員長 高尾 貫
 副委員長 佐野 勝一
 委員 小川 好孝
 丹澤 充朗
 市川 朝嗣